

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	遺跡緊急発掘事業			コード	112105
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課(美術考古館)	作成者 守住 由美子
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化財の保護・活用
		予算科目	遺跡緊急発掘事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	文化財保護法		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 (簡潔に)	開発行為に伴い、埋蔵文化財保護のために発掘調査を行った。		
目的	対象者	市民	
	意図	埋蔵文化財の保護保全	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	年間を通じて開発に伴う埋蔵文化財の保護のため発掘等調査を実施し、遺跡の記録保存を実施した。また、出土品の整理を行うとともに、概要報告書を発行した。 ・試掘、確認発掘調査 新井南遺跡他5件（92㎡） ・発掘調査 榎垣外遺跡（908.9㎡）		
前年度の課題への対応	庁内関係課（水道課・都市計画課・農林水産課）と連携し制度の徹底を図った。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 直接事業費	3,006,650	2,402,537	2,547,967	20,485,000	
経常経費	3,006,650	2,402,537	2,547,967	2,207,000	
臨時的経費				18,278,000	
* 臨時的経費の説明	小井川配水池建設地遺跡発掘事業				
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	
正規職員の人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
③ 合計コスト (①+②)	7,006,650	6,402,537	6,547,967	24,485,000	
前年度比		91.4%	102.3%	373.9%	
財源内訳	5,506,650	5,202,537	5,277,967	5,107,000	
一般財源	5,506,650	5,202,537	5,277,967	5,107,000	
特定財源	1,500,000	1,200,000	1,270,000	19,378,000	
* 特定財源の説明	文化財保護国庫補助金、発掘調査受託金収入				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地内での開発行為を行う場合は、届出が必要である。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 埋蔵文化財包蔵地をGIS上で示し、岡谷市のホームページで一般公開することにより、埋蔵文化財包蔵地を手軽に検索確認することができるようになった。
改善方法	
改善開始時期	平成31年2月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---